



2019年5月15日

各位

会社名 株式会社コンヴァノ
代表者名 代表取締役社長 鈴木 明
(コード:6574 東証マザーズ)
問合せ先 取締役CFO 壺井 成仁
(TEL. 03-3770-1190)

個別決算における前事業年度の実績値との差異に関するお知らせ

当社は個別業績予想を開示しておりませんが、個別決算における当事業年度の実績値が、前事業年度の実績値から一定以上変動しましたので、お知らせ致します。

なお、本日、当社は「2019年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」を開示致しました。

記

1. 2019年3月期(通期)個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

前事業年度の実績値との比較

	売上高	営業利益	経常利益	当期純損失(△)	1株当たり 当期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前事業年度実績(A) (2018年3月期)	2,012	17	11	△39	△18.44
当事業年度実績(B) (2019年3月期)	2,245	16	15	△42	△19.07
差異額(B-A)	233	△0	4	△3	—
差異率(%)	11.6	△2.9	39.3	—	—

(注)当社は連結決算に関しては国際会計基準(IFRS)に準拠して開示しておりますが、個別業績につきましては日本基準で開示しております。

2. 差異の理由

売上面では、前事業年度に新規出店した8店舗が順調に推移し、当事業年度に出店した6店舗も概ね順調な立ち上がりとなったほか、サマーシーズンや年末年始等の需要期に効率的な店舗運営を推進したこと等により来店客数・平均単価共に向上させることができたため、増収となりました。

利益面では、営業利益は、人件費の増加や積極的な出店による地代家賃等の増加により、僅かに減益となりましたが、経常利益は、連結子会社の営業体制強化に伴い受取出向料が増加したため、増益となりました。

以上